

省力部品の積算

(省力部品を使うと人件費が助かる)

- ◎ 日当4,500円で7時間30分働くと、1分間10円に相当することは、誰でも計算します。もう少しわかる人は、人ひとり働いて貰うのにいろいろ有形無形の間接費用がかかるのを知っていて、20円位に計算します。仕事の充分あるところでは、1分間でいくらの付加価値、荒利を上げ得るかを考えて30円と計算する人もいます。
- ◎ 省力、省人ということは現在では常識となって、お蔭様でパイラックはじめ、ネグロス製品を多数ご使用頂いております。
- ◎ 電設工事部品を二つに分けると、どうしても必要なものと、あった方が都合が良いものがあります。
前者に属するもので、例えばケーブルラックやレースウェイなどは、きちんと設計積算するもので、施工後に予算不足をおこしません。
ネグロス製品の中には、あった方が都合がよい部品がたくさんあります。例えばパイラック、KL、LF、TVなど、いわゆる小物にこれが多く、単価が小額なため、積算のとき忘れられてしまいます。
- ◎ 工事が進むにつれ、小物も数多く使用され、無視出来ない金額となってきます。単価50円でも、1,000個では50,000円になります。この段階になって、積算しなかった小物の金額がかさむのに驚いて、ネグロス製品は高いなどといわれてはネグロスも立つ瀬がありません。
- ◎ ここで始めに書いたことを思い出して下さい。ネグロスの小物部品の総額が多いのなら、浮いた人件費も多い筈です。
- ◎ 出来得ることなら、ネグロスの小物部品も始めから積算して、使用メリットを確認してからご使用下さるよう、お願いします。